

●当日いただいたご意見（奥越）

	ご意見
1	ハートフルパーキング、公共施設ではおよそ何割の区画がハートフルパーキングの区画になっているのか。
2	<p>タウンミーティングの集客についても苦労されているところとは思うが、共生社会推進に向けては、障がい当事者等とは関係ない健常者の方の参加を増やすことが大事。 例えばハートフルパーキングなんかも健常者に知っていただくことが大事。 健常者の方はこのイベントを知らない方が多いと思うので、そこにもっと知ってもらい、来ていただくような取り組みをしてもらえればと思う。</p>
3	<p>障がい者用の駐車場は、この施設の規模では何個以上設ける、といった規制のようなものはあるのか。 コンビニのような10台ほどしか駐車しない施設にも2台分用意されているところもあれば、100台ほど駐車できる施設でも1台分しか用意されていないといったことがある。</p>
4	<p>共生社会の実現に向けて、民間施設のバリアフリー化に対する補助を進めていってほしい。例えば飲食店の入り口が狭い、トイレにも入れない等を改善し、障がいがあっても飲みに行ったりできるような、環境づくりをしてほしい。 お店側が気づきがない、障がいのある方が来店するということが普通でない風になっていると思うので、そういった点も普通になっていくとよい。</p>
5	計画の「自分らしく活躍し、生き生きと生活する」について、農福連携以外の支援はあるか。
6	就労Bの方でオリジナル商品を創りたいが、どう相談したらよいか。フクシヨンというのがあると思うが、他にもコンサル的なものがあればサポートしてもらいたい。

●当日いただいたご意見（丹南）

	ご意見
1	新幹線の駅のバリアフリー対応状況はどのようなか。構内で、遅延、災害等が起こった場合、どのような対応になるのか。
2	新幹線の駅のバリアフリー対応状況はどのようなか。構内で、遅延、災害等が起こった場合、どのような対応になるのか。
3	障害者週間での啓発に関連して、出前講座について、市町の住民等からの依頼を待つのではなく、例えば自治振興会、消防署、警察等、行政機関に対して啓発を徹底するのではないか。行政機関に対する啓発ももっとやっていかないといけない。まず行政機関に共生社会に対する理解が不足していると思う。
4	知的障がいの子を持つ母。知的障がい者は自分で目標を持つことが難しい。最近は相談支援員から自立支援サービスを利用できるのは分かるが、サービスの中に「長く引きこもってしまった子どもへの支援」が、A型・B型・一時預かりがあるとされてもどれにも出ていけない、目標が持てずチャンスをつかめない、という方に対する救いの手を行政に検討してほしい。 自立支援という障がい者の枠で考えるのではなく、例えば介護の世界でお年寄りの方と触れ合えるような施設や環境を作してほしい。 介護保険を使えるのは60歳からで、その頃には自身は90歳近くになるが、それまで頑張って生きて、子と同じ施設に入れる。それまでは頑張って生きないと子を老後一緒に連れていく場所がない。こういうことも共生社会として考えられるのか。 こういったように、隠れて家でひきこもっていて傷ついている人がどのくらいいるのか調べていただいて、救いの手として、そういった方々の特性を活かした、親亡き後と、老後どうしていったらよいかを考えてほしい。 制度や社会や自治体など何に関しても、こういったイベントや施策があったことを何も知らなかった。こういった家があるということを知ってほしい。
5	関連して、例えばサービス付き高齢者向け住宅のような施設に高齢者が介護保険で入所するとなった際に、障がい者である子も同居できるような形。障がい者である子は介護保険対象にならないと利用できず、分断されてしまう。高齢者と障がい福祉をミックスして、より使いやすい制度になるよう福井県から声をあげてほしい。

●当日いただいたご意見（丹南）

	ご意見
6	<p>民生委員の適正やスキルに格差がある。活発で立派に活動されている地域もあれば、表現ひとつでも認識が浅い地域もある。</p> <p>障がい者の理解にも格差がある。例えばこうしたタウンミーティングでも、この場に来れるのは協会への加入者や市町民生委員など、情報を得て関心がある方々で、障がい者本人が情報を取りに行かないと何も分からず、日常生活用具など生活の細かな相談にも結びつかない。</p> <p>手帳所有者の方すべてに県はどのように障がい者サービス等の情報を届けるのか。現在のままでは協会の未加入者には届かず、1～2割の方にしか情報がいかない。</p>
7	<p>グループホームについて、需要に対して供給が少ない。</p> <p>民間が立ち上げることもあると思うが、入所にたどり着くために時間がかかる。介護施設も同様。</p> <p>需要と供給のバランスについてどのように考えているか。</p>
8	<p>日常生活用具の限度額の見直しについて、30年ほど変わっていない。</p>
9	<p>2年前の能登地震の際に聞こえない方の情報提供がなかったことで要望があった「アイドラゴン」について、県有施設や各市町の施設に設置いただけないか。</p> <p>石川県の方では、福祉避難所にアイドラゴンを設置してもらったという情報を得ていて、福井県でもできると思う。</p>
10	<p>県およびしあわせ福井スポーツ協会が実施する、障がいのない方への普及啓発については、今後見直して、アスリートへの直接支援に切り替えたほうがいいのではないか。</p>
11	<p>しあわせ福井スポーツ協会がかつては日月休みの火～土営業であったが、今は土日休みの月～金営業になった。障がい者スポーツは土日開催の大会・イベントが多いので、土曜営業がよい。</p>

●当日いただいたご意見（嶺南）

	ご意見
1	<p>アリーナについて、当初とは違う建設内容案が出たと聞き、障がい者の意見が反映されているのか心配。例えば福井県営体育館だと車いす専用席一番上のギャラリーにあるだけで下の階層には降りていけない。スポーツによっては一番下の階層に降りられることもあるが、降りられないと距離が遠く感じる。いろんな場所で観戦できる工夫をしてほしい。</p> <p>こうした施設を障がい者団体が使用する際、ユニバーサルシートのあるトイレがあるとよいという声を聞く。県として、これから建てる県有施設などには率先して導入してほしい。</p> <p>シャワー室なんかも、障がい者でも使用できるような形にしてほしい。</p>
2	<p>ハートフルパーキングについて、利用したくても埋まっていて使えず、駐車場所に困ることがある。車いす利用者は入り口近くの場所よりかは車椅子を出せる広いスペースを必要としている。横幅のスペースはもちろん、スロープ車は長さが必要。合理的配慮の一環として、各商業施設等に一般の駐車枠を2枠使って駐車できるように県として推奨してほしい。迷惑駐車と区別するために、交付されている駐車許可証などをかかげていただく。これは施設側にも費用がかからない。</p>
3	<p>一人暮らしで、大雪が降ったりしたときには買い物など外出できない。そういった時の支援は何かあるか。</p>
4	<p>県営体育館で毎年行われている障がい者スポーツ大会における会場設営について、仮設の観覧席に手すりがなく段差があり、昇り降りが困難。2階の本来の観覧席にしても、手すりがないので、付けてほしい。</p> <p>また、人によってはバスを利用して行けず、個人で運転手を付けて会場まで来られる方がいるが、毎年その大会の日には県の他のスポーツ団体の利用が重なっているなどして、駐車場が埋まっている。日をずらす、駐車場の利用を制限するなど、障がい者が利用しやすいような何らかの工夫ができないか。</p>
5	<p>11月15日の土曜日には小浜でパラスポーツ体験会があり、市民体育館で行われるが、どこの会場に行ってもバリアフリー化されているというもの、例えば入り口近くには1cmくらいの段差があつて車いすの前輪が引っかかって止まってしまったり、グレーチング（排水の網）の隙間に車いすの前輪が落ちてしまうなど、課題があると思う。</p>
6	<p>商業施設で、車いすを利用して買い物しようとしても、車いすに取り付けることができる専用カートがある店が少なく、買い物かごを膝の上に載せて買い物することとなり、その重量で太ももに負担がかかる。そういったものの設置についても働きかけをしてほしい。</p>

●当日いただいたご意見（嶺南）

	ご意見
7	これまで見た目で判断され、悲しい、悔しい思いをたくさんしてきた。いじめも経験してきた。前職で、言葉が通じないことが多く、何を言っているのか分からないから、「もういいです」と聞いてくれないことが多く、私の口であるスマホも仕事中使用することを禁止され、言いたいことが言えずにストレスで疲れてしまい、退職した。このような差別が生まれるのは悲しいですが仕方がないのかなと思うたび、「差別なき世界とは？」と疑問に感じている。
8	タウンミーティングに毎年団体でバスに乗って参加しているが、バスに乗ると酔ってしまう方が来れない。会場を固定するのではなく、回して開催いただくことはできないか。
9	敦賀からパレア若狭までバスを借り上げて往復すると7～8万円かかる。それぞれの車で来るというのは視覚障がい者には困難。こうしたことも踏まえて、何とかそれぞれの地元があると思うが、近くでできないか。それとも、県で移動費用の支援をするなども考えられる。
10	ハートフルパーキングについて、敦賀の立体駐車場などで使わせてもらっているが、区画が埋まっていて、不正利用が多く見られる。適正利用については自分たちの団体でも数年前に呼びかけを行ったが、やはりもっと啓発してほしい。
11	障がい者の結婚について、県の方でも力を入れて取り組んでほしい。一般の人の出会いの場を多く作ったりしていると思うが、障がい者に対する配慮がほしい。身体障がい者の相談員をしていて、年に1回そういった行事をさせていただいていて、要望も多いが、会場代など経費がかかり、思うようにやりきれていない。障がい者はまず出会う場がない。そういった場を作っていくのも、県として積極的にしてほしい。
12	福祉バスについて、いまそれがなくなってしまった。路線バスも本数が減り、雨の日などでも1時間ほど待たないといけないこともあり不便を感じる。バスの本数を増やしてほしい。
13	息子が障害者手帳を使用している。毎日バスで通勤しており、その都度手帳を見せるが、手帳が痛んでくる。再交付してもらっているが、紙の手帳ではなく、カードのようなものは作れないのか。少しでも丈夫な形にしてほしい。
14	いまの話を受けて、スマホをお使いの場合、ミライロIDというアプリがあり、それに手帳を写真で撮って入れていただくと使える。使える施設も増えてきている。また、例えば視覚障がいなどでスマホを使えない方にはまた別の対策が必要。

●当日いただいたご意見（嶺南）

	ご意見
15	<p>はぴラインについて、電車に乗る際にシルバーのボタンを押す必要があるが、周りが蛍光の緑色で判別しづらい。都会の電車だと、外周の黄色いものをボタンの周りに付けて視認しやすいというものもある。はぴラインにもそういったものの導入を検討してほしい。</p> <p>また、降車の際、出口側の案内がなく、降りるのが遅れたという声も聞く。</p>
16	<p>昨年、敦賀市の障がい者の方で、気比神宮の周りの商店街をチェックした際、車いすの方もいて、自動販売機の上の方のボタンが届かないということがあり、ユニバーサル自販機がないという発見があった。</p> <p>市役所にもそういったものは見られない。まずは県立病院など大きな施設から、導入を考えていただきたい。</p>
17	<p>9月27日のパラスポーツ大会について、通知が来たのが8月25日で、案内されるのが遅い。障がい者に案内するには、ヘルパーの準備やバスの手配などを踏まえると遅いので、改善していただきたい。</p>
18	<p>能登の地震の際、どこに逃げればよいか分からないということがあった。</p> <p>インクルーシブ防災という考え方も近年あるように、避難訓練の際に障がい者の方も含めて実施いただくなど、考えてほしい。</p>
19	<p>日常生活用具の支援事業が各市町である。各市町の裁量で一覧を決めるのが一般的だが、いろんな要望があっても、金額面や、負担割合の部分でハードルが高いと感じる。給付事業の一覧が市町でもほとんど中身が変わっていない。デジタル化等の中で新しい商品も出てきており、そういったところへの支援ができていない。</p> <p>どこの市町でも必要なものは必要だと思うので、市町との連帯や調査などについて、必要に応じて県としてまとめていくなど、県として見解があれば、教えてほしい。</p>
20	<p>災害時の避難困難者の避難について、先日の原子力防災訓練での避難訓練の際、避難困難者が対象者に入っておらず、1次避難所や2次避難所に避難するにしても、他人の手を借りなければ避難できない人もいると思う。</p> <p>例えば車いすの方が避難する際にも誰も手を貸せず、他の市町にバスで避難する際にもバスが車いす対応になっていなくて乗車できず避難できない、となると次分の車で避難しないといけない。</p> <p>実際、避難訓練に参加した障がい者は1人だけで、現実的には障がい者は取り残されてしまうということが明らかになったのではないかと。県の方で対策していただくことはできないのか。</p>

●当日いただいたご意見（福井）

	ご意見
1	資料「昨年度タウンミーティングでいただいたご意見の対応状況」のライトアップに関する説明について、手話言語の国際デーについては青色だが、資料には黄色とある。
2	精神科に初診で来られた方への受診時間が少ない。少なくとも初診から5日連続で診察する。症状が重い人はすぐに入院という対応ではなくて、このようにすれば、不必要に入院をする患者も減る。こういったことを病院の精神科に働きかけてほしい。
3	ヘルプマークについて、いろんな講習会で県や関係機関の方から「特に災害の時など、ヘルプマークを付けていただくよう周知してください」という話があるが、知的障がいの方は、カバン等につけていたとしても、ヘルプマークに記載されたこと等で本人がいざ聞かれた時に応答することは難しい。カバンの中に入れたとしたら、ヘルプマークがカバンに入っているということが分からない。シールを貼れるようになっているが、表に出た時には個人情報を開示しているような状態になる。 例えば、ヘルプマークを裏表の2枚方式にして、その間に個人情報（氏名・連絡先・支援内容等）を記載したヘルプカードを入れられる形などに改良をお願いしたい。 東京都が作成しているものだと認識しているが、福井版として改良することができるとしたら、そうすることでヘルプマークを使用する人は増えると思う。
4	障がい者の親が高齢になって施設に入ることを踏まえ、国から、高齢者用の施設とグループホームが併設されているような施設という形が可能になると出ていた。 市町単位の話かもしれないが、県としても、こうした施設は障がい者と親がお互いに助け合うことができるし、希望している親の方もいると聞く。県としても、各市町に整備を後押ししてほしい。
5	合理的配慮、できルールを広めていくということについて、県として、民間の事業者に対して合理的配慮の研修や啓蒙をしていく予定はあるか。
6	今年6月25日に「手話施策推進法」が施行されたが、これを受けた県の計画はあるか。
7	差別解消法について、民間事業者でも「義務」になったので、このことをもっと啓発、啓蒙してほしい。例えば聴覚障がい者として、イベントや行事の際、手話通訳者の立つ場所がないから手話通訳は付けない、という対応を受けたことがあった。運営上仕方がない部分もあると思うが、工夫できるのにしないのは、情報保証における差別だと思う。
8	昨年度、映画「おしよりん」について、字幕がなかった。団体としてPRをお願いしますと言われたこともあったが、字幕がない映画なので聴覚障がい者や関係者にPRしづらかった。前もって字幕を付けてもらえるとありがたい。

●当日いただいたご意見（福井）

	ご意見
9	2025年1月に、国から「5歳児健診の推進を手厚くやっていくように」とされたが、福井県内でも市町によって導入に差があったと思う。今年度の導入について県で把握しているか。今年度、各市町では5歳児健診をどのようなスケジュールで実施していくのかを県の方からも発表してほしい。また、市町で格差が出ないように、県からもサポートしてほしい。
10	関連して、5歳児健診の導入が、小学校入学後の様々なサポートや困りごと防止にもつながると思うが、導入直後の1年目、2年目あたりは5歳児を見ていただいている保育園・幼稚園の職員の方々も、検査によって新たに分かることもあり、対応が増えるなどで負担増が予想される。こういったところに対して県から園に人員増や給与面など何らかのサポートができないか。

●当日いただいたご意見（福井）

	ご意見
11	<p>自閉症や発達障がいに関連で、ペアレントメンター制度が県内では長く導入されているが、知られていない、メンターになっても活躍の場がない、等の課題がある。5歳児健診の導入が進むと、相談をしたい親が増えると思われるが、その受け皿として園だけでなくこの制度を活用するとよい。移住促進に関しても先輩移住者に相談できるサポーター制度があるように、特に発達障がい児の母親などはなかなか安定して働くことができているが、ペアレントメンター制度を報酬が出ることでやりがいにもつながるし、収入につながるし、動機付けにもなる。資格を取ったがそのままになっている親の活躍の場の創出にもつながる。障がい福祉の観点からもこのメンター制度について予算化までしていただけるとありがたい。</p>
12	<p>発達障がいへの理解について、親としても突然、園や学校側から「発達が気になる」などと言われても理解ができず、受診につながらないことがある他、相談先が分からないということがある。障がい福祉にかかわる人々には浸透している部分もあると思うが、そうでない人々には発達障がいやそれに対する政策について浸透していない部分がある。自身は就労施設で勤務しているが、一般企業の障害者就労の法定雇用率が上がったことを受けて、雇用率が安定しているという見方があるが、実際話を聞くところでは、発達障がいへの理解が及ばないがために、一般就職しても、当事者の状態がまた悪化してしまうということも中にはある。一般就職は本人、支援者ともに本当に頑張って実現することであるが、まだまだ理解の浸透が及ばないと感じる。出前講座や障がい者週間を通じて、発達障がいに関して、例えばより分かりやすいリーフレット作成していただけると、教育機関や企業などでも現場でも伝えやすくなると思うので、お願いしたい。</p>
13	<p>今月の新聞で、強制不妊について、全国での賠償件数が306件とあった。実際、強制不妊の申請については精神科が7～8割ほどを占めるのかと思うが、社会的入院等をされている当事者の方がいると思うが、補償法ができたという情報が届けられているのか。県として、入院している精神疾患の方に伝えているのか。</p>
14	<p>入院者訪問支援事業について、全国的に動きがあると思うが、福井県での進捗状況、進捗率はどのようなか。</p>
15	<p>公共交通機関での移動について、路線バスの本数が減少し、移動が困難。タクシーを使うにあたり、タクシーチケットをもらっているが、1回で1枚しか使えず、1枚600円くらいだが、自宅から福井駅までタクシーを使うと3,000円近くかかり、負担が大きい。費用の半額に補助を拡大するといった配慮を考えてもらえないか。</p>
16	<p>坂井市で実施しているオンデマンドタクシーについて、車いすで利用可能か問い合わせたところ「自身の車いすを車内に乗せられるのであれば使ってもよい」とのこと。ということは、介護者が一緒にないと使えないということ。答え方もどうか。坂井市に利便性向上に向けて配慮いただけるよう現状を伝えていただきたい。</p>

●当日いただいたご意見（福井）

	ご意見
17	<p>一般企業の就職の件で、昨年、A型事業所の補助金の件で、県内でもA型事業所が止められ、全国的にも数千人が解雇されたという情報がある。 特に知的障がい者の離職が多いので、離職率等について、県や職安のホームページで開示されているのか。また、企業においての合理的配慮は、こちらが配慮を求める意思を表明しても、企業側ができないとすれば、こちら側は何もすることができないのか。</p>
18	<p>字幕が非常によく分かり、聴覚障がい者にとって良いと思う。私たちの団体は高齢者が多く、講演などの理解が追いつかないことが考えられ、今後の当方のイベントに利用できたらありがたい。 また、視覚障がい者の方には、今日のようなイベントでは点字資料があるとよい。</p>
19	<p>障害者手帳を持っていない軽度から中等度の聴覚障がい、難聴の方に対する補聴器の助成がない。ろう学校に通っている子どもも、軽度から中等度の方が補聴器の効果が一番あるとのこと。汗をかいたりすると劣化することもあり、なかなか手帳がない方には難しいのかもしれないが、県からも各市町に働きかけてもらい、少しでも良いので助成いただけるよう検討してほしい。18歳以上の方についても助成をお願いしたい。</p>
20	<p>県では、まちづくり条例の見直しを進められているかと思うが、福井県はバリアフリー化が遅れている方だと思う。今後の見直しのスケジュールについて教えてほしい。</p>